

Fusyo Collaboration letter



7月2日 No.17 文責 廣田 秀俊

たし算って？今日もみんなで考えよう

“「ふえと」と「あわせと」をくらべよう”1年生の算数の時間です。ひき算の学習にも慣れてきた子供たち。この日は改めて、たし算について考えてみることにしました。

2つの問題から考えます。どちらも写真で紹介されました。最初に見た問題にはみかんがあります。子供たちがその写真から文章を作っていました。「はじめにみかんが4つありました。2つ増えるとみかんは6個になりました。」次の問題にはリンゴが示されていました。最初の写真と違うのは、かごに4つと袋に2つのリンゴが分かれて写っています。こちら子供たちで文を作成していききました。「かごにリンゴが4個あります。袋にリンゴが2個あります。合わせると6個になりました。」



この問題2つはどのように解いていけばいいのか、その技を確かめ合いました。これまでの学習で積み重ねてきた技法です。出てきた案は、ブロック・図・式です。みかんの問題とリンゴの問題のどちらを解いてみるか、出てきた三つの方法のうち、どれを選んで解いていくのか、まずは自分で考えてみることにしました。



自分の考えと友達のを比べたり、紹介し合ったりしたいという思いから、ペアやグループで話し合っていくことにしました。出てきた案を全員でしっかり確認していくことで、わかったことがいくつか出てきました。

<① ブロック>

ブロックの動き:「ふえと」は2個のブロックだけ動かす

:「あわせと」は4個のブロックも2個のブロックも動かす

<② 図>

図の動き :「ふえと」は片方だけ動かす

矢印をしてみる :「あわせと」は両方動かす

<③ 式>

$4+2=6$ どちらも同じ



最後に1時間の学習のふり返しを行っていききました。こんな声が聞こえてきました。

「みんなの考えがわかりやすかった」「もっともっと知りたい」「式が同じになってびっくりした」「違うことや同じことがわかった」等、比べることで色々なことが見えてきました。